



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

岡放技ニュース

2022.11 No.309

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201
TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515
MAIL: oart@oart.jpOkayama Association of Radiological Technologists Since November 21th,1951 URL:<http://www.oart.jp>

発行責任者 大野 誠一郎 編集者 編集委員会

< 会 告 >

研修会名 : 第146回 岡放技セミナー

主 催 : 公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

日 時 : 2023年1月22日(日) 13:00 ~ 16:00

(受付・接続可能 12:30~)

場 所 : 岡山旭東病院 1F パッチアダムスホール

開催方法 : 集会(予定)および Webinar

(参加方法などの詳細は岡山県診療放射線技師会

ホームページ <http://www.oart.jp/> を参照ください)

申込期間 : 2022年11月18日(金) ~ 1月13日(金)

参加費 : 会員・学生は無料 非会員 2,000円

後 援 : 岡山県(予定)

*集会への参加は先着申込30名様に限ります。

*集会が中止となる場合は事前にお知らせいたします。

*岡放技セミナー研修会には「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます。

*オンラインにつき何らかの通信障害が発生する可能性が有りますことをご了承ください。

— プログラム —

13:00 ~ 13:05 【会長挨拶】

肺がん部会研修会

13:05 ~ 14:05 【教育講演】

『肺がんに対する放射線治療の現在』

津山中央病院 放射線科

尾形 毅 先生

胃がん・大腸がん研究会

14:10 ~ 16:00 【教育講演】

『症例から学ぶ』

佐賀県医師会成人病予防センター 中原 慶太 先生

『逐年発見症例の検討』コメンテータ: 岡山県健康づくり財団

中島 明久 先生

木村 貴之 先生

ファシリテータ: 佐賀県医師会成人病予防センター

中原 慶太 先生



事務所開所時間: 月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00~12:00

/*** 講師の尾形先生よりメッセージ ***/



肺癌に対する放射線治療は従来から行われていますが、併用される化学療法の発達や放射線治療技術の進歩により、近年その治療成績は向上しています。手術不能な早期肺癌に対しては体幹部定位放射線治療が保険適応となり、多門照射・回転照射・画像誘導放射線治療・呼吸同期照射、強度変調放射線治療などの技術を用いた高精度治療が行われるようになっていきます。線量処方に関してもD95処方などのvolume処方に移行してきており、腫瘍に高線量を投与しつつリスク臓器の線量を可能な限り下げる試みがなされています。局所進行肺癌に対しては、免疫チェックポイント阻害薬と放射線治療との組み合わせによって従来よりも良好な予後が期待できるようになりました。ただし放射線肺臓炎によって予定治療を中断せざるを得ない場合があります。放射線治療計画を行う際には従来以上に肺への線量に注意を払う必要があります。現在は高度先進医療の枠組みで行われている陽子線治療についてもお話します。

/*** 講師の中原先生よりメッセージ ***/



胃 X 線検査の精度管理を行う上で、最も重要なことは何でしょうか？それは、「症例から学ぶ」ことであり、精度管理の原点・根幹ともいえます。日常で遭遇した1例1例の見直し検討を行い、コツコツと地道に積み重ねていくことです。これは X 線に限らず内視鏡などのモダリティを問わず、食道、胃、大腸など対象臓器、臨床や病理などの分野、医師や技師などの職種、ビギナーやベテランを問わず全てに幅広く共通することでもあります。しかし、実際には自施設で実施するのが容易でない場合も少なくないので、有志らによる症例検討会に積極的に参加するのが推奨されます。症例検討会における論点や疑問点は症例によって様々ですが、被検者1人1人により正確な画像診断を提供するために必要な撮影や読影とは何か？を、自分なりにあれこれ考えることや皆で議論するプロセスがとても大切なのです。当日は、このような趣旨で私見をお話しさせていただきます。

【重要】厚生労働省告示第273号研修(告示研修)開催のお知らせ

教育委員長 木下 琢実

平素は、本会の事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の交付について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直しが行われたことに伴い、追加された行為に関して厚生労働省が指定する告示研修を本会で実施することになりました。岡山県での第3回、第4回の開催となります。

1. 開催日時： 2022年11月26日(土) 9:00～18:30 (第3回目)
2022年11月27日(日) 9:00～18:30 (第4回目)
2. 場 所： 倉敷成人病センター(新棟6F) (岡山県倉敷市白楽町250)
3. 参加費： 会員 10,000円 非会員 20,000円
4. 定 員： 48名/1日(計96名)

開催についての注意につきまして、詳しくは JART から開催案内のメールが各自届きますのでご参照ください。



お知らせ

福利厚生事業からの予告です

福利厚生委員長 国府島昌之

現在、令和元年に第1回を開催して以来、4年ぶりの第2回フットサル大会の開催に向けて準備中です。開催場所や募集要項等の詳細はまだこれからですが、来年春の開催を目指しています。コロナ禍で疲れた体と気分をリフレッシュしませんか？

しかし…

まだまだコロナも状況が落ち着いているとは言えず、第8波も懸念されています。今後、岡放技ニュースとホームページに詳細が決まり次第、順次お知らせしていきますが、コロナ感染の状況次第では中止の可能性もあります。

なお、参加資格につきましては当会の会員に限りません。皆様のお友達や職場の(他職種の)同僚にお声かけしていただき、参加していただければと思います。

報告

第143回 岡山県放射線技師会セミナー開催報告

学術担当 津山中央病院 山本崇裕

令和4年9月11日、第143回岡放技セミナーが少人数の集会型とWebinarを併用したハイブリッド形式で開催されました。

プログラムは予定通り肺がん部会研修会2演題のご講演を頂きました。教育講演1では『胸部単純X線画像診断のちょっとしたコツ』と題して、川崎医科大学 医学部臨床医学 総合放射線医学 教授 加藤勝也 先生よりご講演頂きました。

胸部単純X線撮影は胸部CT検査がメインとされてきている呼吸器診療でも今なお重要な役割を果たしています。周知の事実として情報量の多さとしてはCTと比べ劣るところがありますが、「ちょっとしたコツ」を掴めば勝るとも劣らない検査であるとの事でした。

ちょっとしたコツとしては「左右対称, 比較」「重なる場所=見落としやすい部位」「側面像の有効活用」というキーワードを提示していただきました。2次元画像であることを十分理解し、要点を掴めば読影のレベルがワンランクアップするものと感じました。また、読影に役立つ基本的なサインや側面像におけるRetrosternal spaceやRetrocardiac spaceなど解剖上の構造物が画像診断上、有意義であることも再認識しました。さらに個人的には初耳だったのですが、小学校3年J組読影法(略して小三J読影法)と呼ばれるユニークな読影法について触れられていました。目から鱗の内容が多く、まだまだ奥が深いものと再認識すると同時に、画像診断技術が向上しているにも関わらずCTが胸部X線撮影に取って代わらない理由を見たく感じました。

教育講演2では『見逃さない! 心血管疾患』と題して、岡山大学 学術研究院 医歯薬学域循環器内科学 教授 伊藤浩 先生よりご講演頂きました。

前の演題とは見方が少し変わり、胸部X線撮影や胸部CT撮影を撮像する上で、呼吸器系の病変だけでなく心血管疾患の情報も得られる検査である旨の内容でした。CTR(Cardio-Thoracic Ratio)など胸部X線画像の所見から得られる基本的な情報から、冠動脈疾患の発生リスクの指標を胸部CTにおいて石灰化スコアリング(主にAgatston score)にて評価している旨をご教示いただきました。

また、非アルコール性脂肪肝(NAFLD)と冠動脈石灰化は関連があり心疾患イベントが増加するという報告を提示していただき、NAFLDは超音波検査だけでなく肝臓と脾臓のCT値の比(liver/spleen比)が診断に用いられることから石灰化スコアリングの撮像する際には脾臓まで撮影範囲を含めると診断に有用なのではと思いました。どの内容も明日からの臨床に役立つ有意義なものでした。

今回のセミナーもハイブリッド開催での案内でありましたが、現地参加はごくわずかでした。コロナ禍においてwebinar環境がこれほどまでに整った恩恵は、演者を含めた遠方からの参加者や気軽さなどから考えるとかなり大きいですが、やはり臨場感に欠けるところもあると感じています。次回の第145回岡放技セミナーもハイブリッド開催の予定ですが、世の流れも鑑みて、今後のセミナーは是非とも対面(現地集会)とリモートを半々くらいで聴講・参加を期待したいです。



お知らせ

サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出を行っています。

貸出を希望される方は申込書をファックスかEメールで岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは本会事務室にて行ないます。

貸出使用料の請求は本会が使用者あてに後日行います。

サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)
(サーベイメータは年1回の校正を行っています)
- 2 貸出料金 1週間 30,000 円(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000 円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい



エックス線室の漏洩線量測定事業

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いしてエックス線室漏洩線量測定する事業を行っています。漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。測定日時について調整させていただきます。

測定の流れ

1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。
(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します

(X線装置の操作は病院様側でお願いします。

これをもって病院様の立会者とさせていただきます)

サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入り口ドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

測定時間

1室約30分

測定料金

基本料金 20,000 円 + 1 装置・1 管球追加毎に 10,000 円 を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

Tel 086-235-1313



お知らせ

「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など変更をされた方は、岡放技事務局まで「変更届」に変更内容を記入してお送りください。

「変更届」用紙はホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。

日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】

(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)

岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、是非とも、お忘れなくお知らせください。よろしくお願ひ致します。

【送り先】

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

岡山県診療放射線技師会 事務局

FAX : 086-235-1515

Mail : oart@oart.jp

《追伸》

過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願ひ致します。

令和4年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

11月	1月26, 27日	土、日	告示研修	9:00 ~ 18:30	倉敷成人病センター
12月					
令和5年					
1月	1月22日	日	第146回岡放技セミナー (予定)	13:00 ~ 16:15	岡山旭東病院(ハイブリット開催)
2月					
3月					
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					

※ 日本診療放射線技師会(JART)主催



事務所開所時間：月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00~12:00